

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公開番号】特開2001-320321(P2001-320321A)

【公開日】平成13年11月16日(2001.11.16)

【出願番号】特願2001-87815(P2001-87815)

【国際特許分類】

H 04 B 7/26 (2006.01)

H 04 B 1/707 (2006.01)

【F I】

H 04 B 7/26 X

H 04 J 13/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月25日(2008.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 移動局を動作させる方法であって、

前記移動局に複数の復調器フィンガをそなえた復調器を設けるステップと、

前記移動局をアイドル・モードにするステップと、

前記アイドル・モード中に前記複数の復調器フィンガの1つを用いて割り当てられないチャネルを隣接するセルから測定するステップと、

前記複数の復調器フィンガの1つを用いて現在割り当てられているチャネルを測定するステップと、

前記移動局が静止しているか否かを検出するステップと、

前記移動局が静止しているならば前記復調器の活動を低下させるステップとを含み、

ここに前記復調器の活動を低下させるステップは、移動局全体の活動を停止させることなく前記の割り当てられないチャネルを測定するために使用される前記複数の復調器フィンガの1つの活動を停止させることによって実行されることを特徴とする移動局を動作させる方法。

【請求項2】 前記の各フィンガは、時間多様化されている信号を受信するために使用されることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】 前記の復調器フィンガはCMOS回路を含むことを特徴とする請求項2に記載の方法。

【請求項4】 前記移動局はRake受信機を含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項5】 前記の活動を低下させるステップは、前記復調器におけるアイドル・モード処理をおそらくするステップを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項6】 前記復調器の活動を低下させるステップは、前記複数の復調器フィンガの1つへの電圧供給を切断することによって実行されることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項7】 前記復調器の活動を低下させるステップは、前記復調器フィンガにおける信号状態変化を阻止することによって実行されることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項8】 前記の阻止するステップは、前記復調器フィンガの少なくとも1つへ

のタイミング信号を切断するステップを含むことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】 前記の割り当てられているチャネルは、共通制御物理チャネル C C P C H であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】 前記の割り当てられているチャネルは、共通主パイロット・チャネル C P I C H であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】 前記の割り当てられていないチャネルは、共通制御物理チャネル C P C H であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】 前記の割り当てられていないチャネルは、共通主パイロット・チャネル C P I C H であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】 前記移動局が静止しているか否かを判定するために移動インジケータが計算されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】 前記移動インジケータが、前記移動局に存在する移動検出器で計算されることを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】 前記移動インジケータが、受信された信号における電力レベル又はその他の下り回線測定パラメータの変化を検出するために使用されることを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】 サービスをしているセルの受信信号強度インジケータ R S S I 、隣接するセルの受信信号強度インジケータ R S S I 、サービスをしているセルの信号対干渉比 S I R 、隣接するセルの信号対干渉比 S I R 、サービスをしているセルの受信信号コード・パワー R S C P 、隣接するセルの受信信号コード・パワー R S C P 、サービスをしているセルのブロック誤り率 B L E R 、隣接するセルのブロック誤り率 B L E R 、サービスをしているセルのビット誤り率 B E R 及び隣接するセルのビット誤り率 B E R からなるグループから選択された少なくとも 1 つのパラメータに基づいて前記移動インジケータを計算するステップを含むことを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 17】 移動インジケータが少なくとも所定の期間中、あるしきい値を超えない場合、探索器活動の処理速度を低下させるステップを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 18】 移動局を含む電気通信システムであって、前記移動局は、無線周波ブロックを有する受信器と、複数の復調器フィンガを含む復調器と、前記移動局をアイドル・モードにする手段と、前記アイドル・モード中に前記複数の復調器フィンガの 1 つを用いて割り当てられていないチャネルを隣接するセルから測定する手段と、前記複数の復調器フィンガの 1 つを用いて現在割り当てられているチャネルを測定する手段と、前記移動局が静止しているか否かを検出する移動インジケータと、移動局全体の活動を停止することなく前記の割り当てられていないチャネルを測定するために使用される前記複数の復調器フィンガの 1 つの活動を停止することによって、前記移動局が静止しているならば前記復調器の活動を低下させる活動制御器とを含んでいることを特徴とする電気通信システム。

【請求項 19】 W C D M A システムを含むことを特徴とする請求項 18 に記載の電気通信システム。

【請求項 20】 移動局であって、無線周波ブロックを有する受信器と、複数の復調器フィンガを含む復調器と、前記移動局をアイドル・モードにする手段と、前記アイドル・モード中に前記複数の復調器フィンガの 1 つを用いて割り当てられていないチャネルを隣接するセルから測定する手段と、前記複数の復調器フィンガの 1 つを用いて現在割り当てられているチャネルを測定する手段と、前記移動局が静止しているか否かを検出する移動インジケータと、移動局全体の活動を停止することなく前記の割り当てられていないチャネルを測定するために使用される前記複数の復調器フィンガの 1 つの活動を停止することによって、前記移動局が静止しているならば前記復調器の活動を低下させる活動制御器とを含んでいることを特徴とする移動局。

【請求項 21】 請求項 20 に記載の移動局を含むことを特徴とする電気通信システム。

【請求項 22】 W C D M A システムを含むことを特徴とする請求項 21 に記載の電気通信システム。